

～グループ経営のIT戦略強化と自社経営強化を担う～

第Ⅲ期

グループCIO交流会議

目的

1. グループ企業における経営とITの融合戦略を見据えたIT戦略推進責任者として、グループCIOが果たすべき役割の理解を深めます。
2. グループ企業のもとでITサービス主体の戦略子会社として、経営力強化のための様々な課題について討議いたします。
3. 異なる業種のグループCIOの方々、ならびに有識者との人材ネットワーク形成の場を提供し、共通の問題意識を有するメンバー間の意見交流を促進いたします。

参加対象

ユーザ系 IT戦略子会社における経営者、役員

定員

40名

会期

2008年5月～12月(全5回開催)

会場

日本能率協会研修室

※IT戦略子会社の経営者を「グループCIO」とIT協会では位置付けます。

運営委員長・コーディネータご紹介



中島 洋

株式会社MM総研 取締役所長
日経BP社 編集委員
国際大学 教授

【略歴】

東京大学大学院修士終了。日本経済新聞で産業界記者、日経BP社で「日経コンピュータ」「日経パソコン」を担当後、日本経済新聞編集委員。97年～02年慶応義塾大学教授。全国ソフトウェア協同組合連合会会長、社団法人企業情報化協会理事。

開催のご案内

大手ユーザ企業の多くでは、情報部門を分社化させ情報戦略会社として自立・運営させる傾向にあります。分社化の理由としてはいくつかの背景が考えられますが、ITが企業活動遂行上の有力な手段であり、IT化による業績向上や競争力強化はもとより企業価値の向上とグループ企業の結束を緊密なものとするのが、その根底にあると考えられています。

IT戦略子会社では、親会社において検討される情報化戦略を受けて情報システムの有効性評価や最適な情報システム投資の提案と構築・運用が求められるなど、重要な責務を負っています。

小会ではこうしたIT戦略子会社の経営者を「グループCIO」と位置付けました。

グループCIOは、IT戦略の企画立案責任者であるCIOとともに、経営のビジョン・ミッション・ストラテジーをITで示せる能力と、企業グループの横断的なコミュニケーション能力を要求されています。同時に、年々増加するIT投資への適切な判断など極めてミッションクリティカルな任務を担当しています。

こうした状況を踏まえ、小会では経営とIT戦略の融合を担うグループCIOの方々を組織化し、直面する経営課題と解決のための情報提供や国内リーディングカンパニーによる事例紹介など、グループCIOの方々が一同に話し合いとディベートを行う場の設置を目的とした「グループCIO交流会議」を開催いたします。

本趣意書ご高覧のうえ、よろしくご参加のご検討賜りたくお願い申し上げます。

基本時間配分 ※基本時間 14時00分～18時30分を基本といたします。

時間	内容	時間	内容
14:00	ご集合	15:40～16:40	講演②
14:00～14:30	メンバー紹介/コーディネータ課題提起	16:40～17:00	コーディネータまとめ
14:30～15:30	講演①	17:00～18:30	情報交委員会(懇親会)

グループCIO交流会議 運営委員会委員

委員長

中島 洋 株式会社MM総研 取締役所長 日経BP社 編集委員

委員

大木 隆平 株式会社IHIエスケープ 代表取締役社長	丸尾 健司 株式会社ジューエムエーシステムズ 代表取締役社長
財津 雅成 ITエンジニアリング株式会社 代表取締役社長	清水 豊 株式会社中央コンピュータシステム 代表取締役専務
弦間 道夫 味の素システムテクノ株式会社 代表取締役社長	九萬原 敏巳 電気事業連合会 情報通信部長
大河内 実 株式会社NEC情報システムズ 取締役常務執行役	岩田 隆太郎 東北インフォメーション・システムズ株式会社 専務取締役
田村 和豊 関電システムソリューションズ株式会社 常務取締役	小林 俊 ニッセイ情報テクノロジー株式会社 代表取締役社長
長谷川 慎 キリンビジネスシステム株式会社 代表取締役社長	小田 正基 古河インフォメーション・テクノロジー株式会社 常務取締役
長尾 成美 九州電力株式会社 情報システム部 情報企画グループ長	鳥野 芳巳 三井造船システム技研株式会社 代表取締役社長
石井 順 株式会社JR西日本ITソリューションズ 代表取締役社長	富田 俊郎 横河ソリューションズ株式会社 代表取締役社長

以上(順不同・敬称略)

2008年4月1日現在

研究討議テーマ・内容

第1回 5月28日(水) グループ経営におけるIT戦略と情報システム子会社の役割

情報システム子会社の位置づけや役割は、親会社やグループ企業の経営方針のあり方により、その事業ミッションも様々に異なります。IT社会が進展する中で、今後グループCIOが講ずるべき打ち手や、IT環境や技術が変革する中での親会社に対するシステム開発戦略や人材育成についてご報告します。

議題

「情報化の新潮流とIT企業の今後」

講師：中島 洋氏
株式会社MM総研 取締役所長

事例研究①

「ヤマハモーターソリューションにおける
企業風土づくりと人材育成」

講師：渡辺 卓哉氏
ヤマハモーターソリューション株式会社 代表取締役社長

第2回 7月9日(水) グリーンITの推進にむけて ―情報化における省エネ、環境対策―

世界的に取り組みが進められている地球温暖化対策の潮流は、ITの世界でも注目を集めています。情報化の過程で検討すべき省エネ、温室効果ガス対策など環境対応に向けた企業の取り組みや課題解決策について検討します。

事例研究①

「CTCが目指すデータセンターにおける
グリーンITの取り組み」(R20)

講師：唐木 眞氏
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 事業企画室事業開発部長

事例研究②

「Hondaの環境への想いとITの取り組み」

講師：新井 典之氏
本田技研工業株式会社 IT部第二システム室長

第3回 9月24日(水) 現地交流会議：東北インフォメーション・システムズ株式会社様

G-CIO交流会議では、地域に密着した活動を展開する情報システム戦略企業を現地に訪問し、活動状況を報告いただきます。今回は東北インフォメーション・システムズ株式会社様を訪問し、同社で展開されている内部統制強化の取り組み、情報セキュリティに対する考え方等について、同社(仙台市)においてご説明いただきます。

訪問先：東北インフォメーション・システムズ株式会社 様
(仙台市青葉区中央二丁目9番10号 セントレ東北)

<http://www.toinx.co.jp/>

第4回 10月20日(月) 工事進行基準の導入とSI契約の変革

2009年4月から、SI契約などにも「工事進行基準」が適用されます。プロジェクトの進捗度に応じて収益を計上する進行基準は、情報系のビジネスに大きな変革を迫ります。ここでは工事進行基準の概要とその対応策について協議します。

事例研究①

「ITエンジニアリングにおける工事進行基準に対する考え方と取組み」

講師：松藤 伸行氏
ITエンジニアリング株式会社
ビジネスソリューション事業部 ERPソリューション部 部長

事例研究②

「人選中」

第5回 12月2日(火) ITプロジェクトマネジメントオフィスの取り組みと課題

システム開発プロジェクトにおいては、要件、見積、契約、仕様変更、要員スキルなどのリスクが高く、不採算プロジェクトの発生が後を絶ちません。SI事業における、プロジェクトマネジメントを基盤とした実践事例を中心にご紹介いたします。

事例研究①

「経営者のためのITプロジェクトにおける
PMOの効果的構築と運営」

講師：仲村 薫氏
アルファミクスインターナショナル株式会社
代表取締役社長

事例研究②

「ITプロジェクトマネジメント
オフィスの取り組みと課題」

講師：吉岡 靖晃氏
株式会社インテック 技術統括本部
統括プロジェクトマネジメント室 参事